

# 令和 7 年度総合教育会議

日 時	令和 7 年 1 2 月 2 日 (火) 午後 3 時 3 0 分～午後 5 時 0 0 分		
場 所	役場 3 階委員会室		
出席者	蘭越町長	金	秀 行
	蘭越町教育長	渡	邊 貢
	蘭越町教育委員	西	澤 雅 明
	蘭越町教育委員	高	橋 浩 之
	蘭越町教育委員	宮	武 かおり
	蘭越町教育委員	安	田 智恵子
説明員	教育次長	今	野 満
	学務課主幹	山	本 和 教
	生涯学習課主幹	工	藤 伸 也

## 1 開会 今野教育次長

## 2 町長挨拶

皆さん、こんにちは。今外を見たら、やっと雪が降ってきたんだっていう、そんなような感じで今日午前中、倶知安に行ったときにまだ降ってなくて、今日の予定見たら降るんだと思ったら案の定やっぱり降ってきました。やっとそういう季節になってきたんだなっていうふうに、非常に感じております。

12 月に入って、あとひと月という中で非常に皆さんもお忙しい中、今日のですね、令和 7 年度の総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今日、教育委員の皆さんには、非常に日頃から学校の教育を始め、子どもたちの健全育成、さらには本町の教育行政の充実・推進にご尽力いただいておりますことに対して感謝とお礼を申し上げる次第です。今年、教育の主な事業という部分からいくと、昨年度に引き続いて、蘭越中学校の大規模改修、これが今年度で終わるっていう部分です。それをはじめ、学習用タブレットの 2 か年目の更新、また、オンライン学習ドリルの導入、スクールカウンセラー業務の拡充、学校教育の環境整備、地域学校協働活動推進員の配置、花一会のおもい出帳記帳システムの導入ですとか、スキー場リフトシーズン券の支援、さらには生涯学習並びにスポーツ活動の推進、そんなようなことを事業として取り組んでまいりました。

そのような中で、総合教育会議というのは今回で 11 回目を迎えるんですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、この法律に基づいて毎年開催されているということでございますけれども、蘭越町の教育課題を行政というか、私は町長の立場ですが、町長と教育委員さんが共有をしながら、推進に努めるというようなことを目的として、今回で 11 回目ということです。いずれにしても、蘭越に住む子どもたち、未来を担う子どもたちがですね、安心して教育を受けられる、そんなような環境を整えていく。それと教育、生涯学習を含め、推進を図る。そういうようなことをですね、今後さらに推進してまいりたいというふうに考えておりますので、今日、来年度のいろんな事業とか、そういうものについてもご審議をお願いすることとなっておりますので、よろしく願い申し上げて、開会にあたってのご挨拶とさせていただきますと思います。

本日はご出席いただき誠にありがとうございます。

## 3 教育長挨拶

教育委員を代表しまして一言挨拶を申し上げます。

町長におかれましてはお忙しいところ出席ありがとうございます。今、町長からお話ありまし

たとおりですね、毎年この時期に年に1回ですね、この教育総合会議を開催しているということです。

先ほどありましたとおり法律に基づいて、令和8年度の予算編成に当たっての大綱をですね、教育大綱ですね、これを作成するに当たって、ここにいる教育委員さんのいろんなご意見、それから調整事項等を踏まえて、今日こういう場をですね、町長が設定していただいたということになります。

本日、項目では7項目、これ協議事項として載っておりますけれども、主にこれが中心となっております。私含めて委員の皆さん、せっかくの機会でございますので、いろんな忌憚のないご意見、調整等ありましたらですね、その旨ご発言いただければと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

#### 4 協議調整事項（教育次長説明）

##### （1）教育委員会の当面する主な課題について

- ・学校給食の無償化について
- ・学校体育館空調設備設置について
- ・花トイレ及び噴水施設の閉鎖について
- ・野球場照明のLED化について
- ・町民プールの温水化について
- ・運動機会の充実について
- ・社会教育事業と子どもたちとのつながりについて

町長）

ただいま事務局から教育委員会の当面する主な課題についてということで7点、課題があるという説明をいただきました。一つひとつについていう部分ではなく7点の中で、委員の皆さん、いろんなご意見、そういうものがあると思いますので発言をしていただきたいと思いますなと思っております。

特に最後の2点は、宮武委員からの協議調整という部分ですので、委員の方からこの点についても何か補足とか、そういうものがあれば、ご発言をしていただければというふうに思います。

学校給食費の無償化についていう部分でいくと、現在蘭越町においては、子ども・子育てという観点から学校給食費の半額を助成しております。今回、自民党、公明党、維新の会という中で、高市新総裁になって、まず小学校の方無償化しようって話があるんですね。ただ、給食費についていうのは、それぞれの町村によって違うんですね。だから今、平均で4,700円、ひと月の給食費が4,700円についていう、その辺をベースに国の方では試算をしてくるのかなって思っております。ですから、学校給食費の無償化についていう部分からいくと、今、蘭越町は子ども・子育てという部分で半額助成をしています。小学校が国の方から支援があれば、今の財源を活用して、中学校とか保育所とか、そういうところでもできれば、全体的に無償化できればどうなのかという部分を、今、福祉サイドの子ども・子育ての方で検討してるという部分と、給食費は全国違うし、給食費で材料をすべては賄えないんですね。物価高騰だってあるから、その分は全部町の方で補っているという、そういう現状だから、そういうものも踏まえた中で、委員の皆さんからご意見をいただければ。

学校体育館、確かに今、各小中学校とか保育所とか、公共施設もエアコンを整備してます。ただ、体育館というのは今のところ整備ができなかった部分なんですね。やっぱり熱中症という非常に今の温暖化に伴って、相当子どもたちが体育館で授業をやるっていうのは結構つらい部分が出てきてるっていうのが現状だになっていうふうにも、見て感じる部分があるんだけど、学校体育館の中で空調設備をやるってなると相当な財源が必要になってくるなっていうのがあります。

野球場のLED化とか、町民プールの温水化とか、要望ももらいましたが、実際に今、どれだけの方々がプールで利用して、温水にしたときにどれだけ利用があるかなって、そういうもの

も含めながら、ただ単に要望があったから温水にしますっていうだけでは、なかなかいかない部分もあるかなって思うんですよ。この辺でいったら寿都が温水プールでやってるんだよね。だから行きたかったら、バスを出すから、寿都に行ったらって言うてるんだけど、そこも行かないのもあるかなと思ったり、年中通して温水化っていうのがあるのか、それとも、上下ひと月ずつ延ばすぐらいの、そういう暖房を少し入れて利用させるとか、いろんな考え方を持ちながら、検討していかないとなんないのかなっていうことを今考えているところです。

やっぱり何をやるんでも財源ってないですね、なかなかできない部分があるんです。それで必要な部分はやっていかないとと思うので、特に宮武委員が言った運動機会の充実とか、子どもたちの社会教育事業とか、これを出されたっていう中では、何か今の部分で足りない部分があって、もう少しこういうようなことができないかとか、これは非常に良い意見かなっていうふうに思うので、補足的な部分があったら述べていただければと思います。

宮武委員)

プールのお話がありましたけど、もし仮に温水っていう方向になったときに、その周辺で何か室内で遊べる施設もあつたら、複合的な活用になれば、もっとプールの利用も増えるんじゃないかな。ただ、長期休みとか、夏とか冬とか外で遊ぶ、長時間遊ぶっていうこともなかなか難しくなっていて、夏も暑いですし。となったときに室内で安全に遊べる施設があつたらどうか。例えば、体育館の中に移動式のアスレチックの遊具を長期休みのときだけ設置して、利用してもらってということでもいいですし、そういうものがあつたら、安全に遊べる場所ができるんじゃないかって思いました。

教育長)

この間の教育委員会でもこの話はある程度聞いてたんで。

宮武委員)

新しいものを作るっていうのもなかなか大変です。

町長)

子どもたちの体力低下って、今ゲームやったり何かってそういうものがすごい多くて、そういう部分から少し体力をつけたり、何か必要だっていう観点かなって、そういうふうには感じた部分もあつただけ。今、総合体育館の中で、確かにいつとき、黒松内の総合体育館にあるボルダリング、そんなのを体育館の中にできないだろうかとか。だけど今、宮武委員が言った短期の中でそういうのができればもうすごく面白いなっていうのは。だって長期でずっと置くよりはそういう。

宮武委員)

理想は長期で、長期で使える施設があつたらいいなって思うんですけど、そこ直ぐには無理かなって。

教育長)

理想は、そういう施設が欲しいってことだよ。よく八雲とかにあるようなイメージでしょうか、ああいう室内のね、遊び場みたいなね。

町長)

今、共和にできる。

教育長)

そうですね、共和にできますね。道の駅の、あそこに室内の遊び場が。

町長)

今ふっと私なりに思ったのは、そういう、遊具とかやってるところが、その業者が展示でもいいから少し使ってもらうとか、そんなような中で、来て、よくニセコの倉庫を活用して児童のとか、いろいろやるのがある。そんなようなことが、いろんなやっていいねとか、もうちょっとこういうことあったらいいねとか、そんなような部分に繋げていければいいのかなって思ったりね。どうですか皆さん、それに関わらず何か、ご発言をしてください。

西澤委員)

要望をいろいろと出さしてもらって、これから議会ということなんですけど、何やるにしても、予算がかかるっていうこと。どれを優先してね、実現できるのかって。プールの問題も出ました。それから遊び場の問題も出たんですけど、それが何か民間でもこの前テレビでやってました。民間でもやってるところもあって、室内でね。いろんなそういうものがあって、毎日やってるのか週に何回かちょっと忘れましたが、確かに今の子供たちは外遊びをしない。夏でも。

クラブはあんまり入らないっていうか、帰宅部が多いっていうことになると、ましてや登校もあまり歩かないとか、あと運動、当然やっぱりそういう部分衰えてきますよね。

本当にあれば、こんないいことはないかと思うんだけど、子どもの数も減ってきてるんじゃない。どこまでそれが継続してやっていけるか、あるんですよね。

プールの問題なんかもありますけど、これもちょっと話に出たんですけど、夏の間は確かに利用しますよ。本当にそうしたら温水でもう少し1ヶ月2ヶ月延ばしたときに利用する人もいるのかみたいな。実際にその何かの大会やっても何人いないとか、そういう中で、そこまでお金かけていけるか、構想はいいですよ。

町長)

確かにプールの協議会やってるけど、悲しいかな、少ない。いや、だから、やっぱりそのやって欲しい、やって欲しいって、いろんな要望がある人方が、できれば少しはやっぱり人がやってきて、もっともっと盛り上げていってくれば、これは愚痴ではないけど、やっぱりこういうことが必要なんだっていう部分の中では、本当にやって欲しかったら、やっぱりそういう部分の中で少し、そういういろんな部分の中にも参加しながら、やっぱりこれだけ町民プールの利用っていうのがあるんだっていう中で、考えてやって、やっぱりそういうような部分でいくと、非常に。ただ要望だけ出されて、実際にそうしたら競技で使ってるって、やっぱり来てるのをいつも同じ人しか来てないんじゃないかだけだったら、やっぱり説得力に欠けるんだ、そういう分から言ったら。いや、やればやってあげたい。こうやって少しでも。要請も来てるし。だけど、西澤委員も言うように、やっぱりそれだけやる効果ですよ。やったら本当に来るのかっていう。

西澤委員)

署名 168 人ですか、来てますよね。

宮武委員)

でも子どもだけの利用じゃなくて、仮に温水になったとしたら、大人、例えば高齢者の運動の機会に利用するとかそういうのがちょっとありそうかな。

町長)

きっと、だから今言うとおりの、高齢者対策としても、少し温水プールを連携して、温水プール

じゃなくてもいいけど、暑い今の夏の間にもそういうプールでしましょとか、やっぱりそういう部分を少しずつ連携していけば、もっと。

安田委員)

そうかも知れないですね、利用が増えるかもしれない。

教育長)

あと、一方では、この間も委員の中で話したんですけど、プールの存在意義っていうのは、要は小中学校の学校の授業に組み込まれてるっていうのもありますので、水に子どもたちが親しいんで、そこで泳いで体力づくりっていう、そういう側面がまず大前提であるっていうことで、温水プールに限らず、まず施設を残さなきゃいけないと前提にありますから。

町長)

必ず各学校とか町の中にプールはないといけないの。

教育長)

ないところはあるんですけど、例えば京極も温水なんですけど、倶知安でないときは、倶知安の子どもは京極まで連れて行って、バスで連れて行って授業をやったり、今、倶知安でも温水プールできますけど、体育館の横に。

町長)

そこなんだ。今、首長方で話し合ってるのは、連携できるところは連携して、そういう施設利用っていうのはやった方がいいんじゃないの。斎場とかなんかだって、だんだん倶知安に行きま、なに行きますってときに、そういうふうに関連してやったりとか、今、プールとかなんかもそうなんだけど、ないところをお金払ってでもいいし、建てるときに一緒になってやろうとか、そういうような部分で連携していけないんだろかなっていう、そういう話は実はあるんだよ。

教育長)

ニセコってあるんだっけ、プール。

生涯学習課主幹)

ニセコ多分ないんじゃないですか。

教育長)

ないよね。ニセコの子どもたちってプールどこに行ってるんだろう。

生涯学習課主幹)

高校のところに昔あったんですけど、多分使われてないんじゃないかなと思います。

教育長)

授業はやってるよね、でも、どっか、使ってるのかな、きっと。

生涯学習課主幹)

真狩は、もう今はないんですけど、真狩は京極かどっかに行ってるはずですよ。真狩は野ざらしになっているんで。

教育長)

授業はやんなくていいわけにいかないよね、やっぱり水泳は必須なんだよね。

町長)

だから、必ず町村になければならないっていうものでもないんでしょう。あった方がそれはいいと思うけど。

教育長)

ただ必須である以上、どこかに泳がせに連れて行かなければならないということだと思います。

教育次長)

多分プールがなかったら、スキー授業と一緒に、何時間かをみて、そういう施設に連れて行って実施する感じになると思うんです。

西澤委員)

でも、いずれにしても、行政で何かやるってなるとすべてただでサービスしてもらえるっていう、そういう考え方だと思うんですよ。だから、それに対して少しこの負担金、参加料はちょっとお金をもらうっていう考え方っていうのはどうなんでしょう。何でもかんでもただっていうね、高齢者だって今バスお金幾らかかかかるでしょう。

町長)

らんらん号とか、循環してる部分は無料だよね、今。だけど、これからはそういうことも考えていかないとまったく。やっぱり何でもかんでも造りました、全部利用してください、何っていうのは非常にね。

安田委員)

これからますます子どもも減ってくるし、ドンと建てて子どもが少なかったら、全然来ないことになるだろうし。

町長)

何とか子どもを減らさないようにしたいなって私は思ってるけど。

高橋委員)

今、全国的に、要は少子高齢化で自治体にもう人口もどんどんどんどん減っていく中で、いかにして地元の町の人口を増やしていこうかっていうのを皆さん考えていて、今実際言われたように何でもかんでも無償化、無償化、給食無償化、授業料無償化、あれも無償化、これも無償化っていうことでやっても、結局無償化にするにしても、その分はどっから持ってこないと、やっていけないわけですから。だから何でもかんでもその無償化、無償化っていうのもあれだし、今言われたように利用料とか、やはりこれからはそこら辺いただきますよっていうことを前提にして計画を立てていった方が、もしやるにしてもいいんじゃないかなと思います。

町長)

確かに温水にしましたと、温水にしたっていったときは暖房代がかかるわけだから、やっぱりそのときは1人幾らもらうとか。町外者って今、全部ただ。

生涯学習課主幹)

プールですか、全部無料です。

町長)

非常にだけど、喜ばれているとは思うけど。今のうちのあのプールって素晴らしいプールだって。札幌なんかから来たたら、すごい、すごいって褒められる。こんなただで、プールに入れるとかで。

高橋委員)

普通はだけどそういう考えなんですよ。一般の人方の考えって。

西澤委員)

そんな話聞いたことがありますよ、蘭越町は安いっていうね。普通なら 500 円とか千円とか取られるけど。だから蘭越に来たとかって。

教育長)

体育館のトレーニング機器、町外者負担とってたよね、町内は無料だよ。だから町内はやっぱり機械やるやつとかも、そういうふうにして町外と町内は分けてるっていうのは結構ありますね、そういう利用の関係は。

町長)

急にとりますってなったら、ひどい揉めるな。

教育長)

思いますね。やっぱり町民は言うと思います。これからはやっぱりそういうのを理解していただく時代になってきてるから、そのとおりだと思いますね。

安田委員)

倶知安とか余市も結局、体育館利用するだけでお金が発生するんですよ。そういうのを考えたら別にいいんじゃないかなって。

教育長)

町民であつてもね。

西澤委員)

全額っていうか、高くとらなくても、ある程度もらってもいいんじゃないかなって気はする。そうじゃないと常にやってもらいたいことはもういっぱいあるわけで、それを全部やってもらったら、全然。

町長)

だから、いろんなところから財源を何とかかき集めてとか、いろいろこう思っているんだけど。子どもたちの成長に関わる部分とか、そういう教育の部分はあるべくいろんな手立てをしながらね。そうしたら子供だけかって怒られる部分もあるんだけど、これをやりつつ、できればいいかな。ただ、その町民も利用する、そういうような部分については、これからはやっぱりその時々に応じた部分の中で、これがもし空調やりますとか、暖房入れたりとか、温水にしますとかってなったら、少しは、その時は協力してもらいますとか、そんなようなことを周知しながらや

っていくっていうのもひとつかなって、非常に考えてます。  
それとここに花トイレの噴水について、これいかがですか。

宮武委員)  
花トイレって教育委員会の管轄なんですよ。

教育長)  
花一会の管轄。

西澤委員)  
公衆用のトイレって、蘭越町少ないでしょ。だからコンビニ入ったらいいかもしれないけど、何か買わないと悪いと思う。でも昔はね、駅前が賑やかですごい立派だったんだけど、あれ建った頃はもう下火になってきたんだけど。どこかにやっぱり公衆用トイレってあってもいいよなって気はするんだけど。ちょっと前までは、冬もちゃんと開けてましたよね、あるときからもう冬は閉鎖に。それで駅のトイレも使えない。だからコンビニとか。

町長)  
もう、らぶちゃんホールに行くしかないんだよ。

西澤委員)  
だけど、朝そんな早くから開いてないんですよ。

生涯学習課主幹)  
らぶちゃんホール朝7時になったら一応開いてますけど。

町長)  
当初は、新幹線が2030年に開通するっていう部分の中で、今でいったら、バス転換にしましうって決まったんで、あそこの蘭越駅周辺を含めた、その開発の部分の中で、いろいろ駅舎っていうか、駅舎を含めて、あの踏切から踏切の間で一筆になってる、実は。踏切から踏切っていうのは、中学校に行くところの踏切と花一会のところの踏切と、駅舎も含めて全部一筆になってるわけ。そこを町の方で取得したいっていう、そういう要請を挙げていて、そこでいろんな構想の部分の中で、やっていけばいいなと思ったんだけど、いつになるかも、はっきり言って分からない状況になったんだよね。西澤さん言うように公共のトイレって、やっぱり今綺麗じゃないとならないんだ。

西澤委員)  
そしてあそこも和式なんだよね、最近は和式ももう。

町長)  
だから本当にみんながあそこを残して何っていうふうになったら、ちゃんとしたものを持った方がいいのかなと思いつつ、駅前のその構想をもう延びたんでね、どうしたらいいのかなって、ちょっと思ったり。今、花一会図書館だって、はっきりいったら、もうかなり老朽化になったり、あの建物は非常に立派なんだけど、冬になるともう大変なの、氷がいっぱい着いて、雪庇着いて大変な状況なんですよ。だから、あそこもいずれいろんな部分で改修していかなきゃなんないのあったりとか、そんなのを含めながら、あのエリアを少しやらないのかなって、最初はちょっとそういう構想もあったけど。



西澤委員)

それから町長仰られた各町村長の一緒にできるものにするっていう、それはいいと思いますよ。例えば今、今火葬場やってますよね。でも二つですよ。順番少なくなっても高齢者の動き、ぶつかったりなんかする時ありますよね。だから近くの町村と合併っていうか、一緒にもう少し大きなものを建てて、そうすると、自分で建てるよりも、お金が少なくて済むんだわ。

町長)

いや、今だから倶知安の斎場をいつ改修すんだよっていろんな話をしてるんだけど、なかなか。でも直ぐにはいかないって。そこ倶知安の斎場大規模にやるんだったら、本当にうちも使わせて欲しいからっていうそんな協議もできるかなと思ったり。今はセレモニーとかなんかでやると、セレモニーで負担してるんだよね。町外者だから高いんだよ、斎場代っていうのは。

高橋委員)

5万円ぐらいですよ。

町長)

町内者は1万か、その部分だけど。だから、それは今あれ、業者が負担しているのか、倶知安でやるっていったら。

教育次長)

こっちに連れてくるより、安上りになるから、倶知安で火葬してもらうっていう話しは聞いたことがあります。

町長)

だから、だんだんだんだん今、倶知安でやったらほとんどあの倶知安斎場、蘭越までっていうのは、なかなか来ないよね。だから今、ちょっとこのところ、コロナも大分落ち着いて、お寺で葬儀をやるっていうのもちょっとずつ出てきてはいるけども、将来的には、きっとそういうようなこととか、下手したら学校給食とか、そういうような部分だって本当に。今は委託したからいいけども、だんだん本当にしたら、いつまでもずっとその一町村の、そういうものを維持していけるのか。だから大きく、そういう中でできるのか。

安田委員)

固まって建ちそうな気はします。

町長)

そういうみんなにもメリットになるような連携だったら、いいなというふうに感じる場所ですけどね。

教育次長)

給食の話でいうと、室蘭と登別で合併して給食センターにやるっていう話もあったので。

町長)

おかげさんで今は、うち委託できたから、民間委託にして頑張ってもらってるから、働いてる人方は結構同じ人で働いて、大変だ大変だってやっぱり言ってるけども、民間だからその分で、いなかったらどっか他のとこの人を集めたりなんかしながらやってるんだ、きっと。

教育長)

人数は揃いましたね、大分いい感じで。

町長)

どうですか、委員の皆さんからもう一つ案件があるんだけど、いろいろご意見があったら出していただければ。今日ここでどうするとか、結論は出ない部分っていうのがありますが、やっぱりあの子どもたちとか、その生涯学習も含めながら一つの方向性とか、そういう部分の中を皆さんの中で協議していただいて、やっぱりこういうふうこれから行くべきだっていう、そういうものはいろいろ協議しながら、そこにいろんな施設だ、そういうものも付随してくるだろうし、そういう整備の仕方とか、そういうのもこれから必要になってくるかなというふうに思うので、これは大きなテーマなんで、その中で皆さんからご意見があれば出していただきたいなと。

次8年度の予算関係とか、その部分での説明もあるんで、何かあったらっていうふうに思いますが、いかがでしょうか。

そうしたら、次の8年度の予算っていうか、この部分も説明しながらいただいて、全体的にまた皆さんの方からあれば、ご意見を伺うということでもいいですか、よろしいですか。

一同)

はい。

## (2) 令和8年度教育費予算について

町長)

次の8年度の教育費予算について説明してください。

教育次長)

総務総務費：幼児・児童・生徒、保護者に対する教育相談支援員の配置継続

学校教育アドバイザー2名配置継続

ALT2名、外国語活動支援員1名体制継続

英語検定受験手数料

学校施設長寿命化計画策定委託

蘭越小学校校務用端末更新、資産管理ソフトウェア導入

スクールカウンセラー業務委託

児童生徒情報モラル教室継続

蘭越高校学校教育振興対策費（学習タブレット更新）

スクールバス更新

学校教育費：蘭越小学校医療ケア児のための看護師配置継続

学習用タブレットフィルタリングソフト継続

蘭越小学校・中学校雪割用ブルドーザー運搬・借上げ

小学生ふれあい動物園体験

昆布小学校特別支援学級教室への新規エアコン設置

小学校への電子黒板購入

中学校部活動指導員の配置継続

中学校屋体バスケットゴール電動式交換修理

社会教育費：公営塾運営継続

地域学校協働活動の推進継続

学校運営協議会

町民センター開館 20 周年記念生涯学習講演会の開催  
文化部活動の地域展開  
生涯学習出前講座継続実施  
中学校へのふるさと学習館移転及び曲子光男絵画作品の展示・収蔵  
町民センター事務室及び花一会図書館空調設備の設置  
放課後子ども教室の週 5 回開設継続  
保健体育費：児童生徒スキーリフト代金全額助成、  
中学校部活動の地域展開  
スポーツ教室、スポーツ観戦事業継続  
野球場ナイター照明更新調査  
総合体育館事務室、遊戯室空調設備設置  
学校給食費無償化  
学校給食調理業務委託継続  
厨房清掃業務委託

町長)

今、これはそうすると、委員の皆さんは事前に説明を受けたってということで、いいんですか。そうですか。そうしたら内容については一度説明を受けてるということですので、これについて何かちょっと確認したいこととか、併せて、全体的な部分も含めて、ご意見もいただければというふうに思いますので、よろしくお願いします。

安田委員)

例えば、学校の体育館の空調設備の件なんですけど、総体あるじゃないですか。体育のときそっちに夏の間だけ移動してやるっていうわけにはいかないんですか。あそこ空調が、総体入るので、そこまで今暑くならなくて。

教育長)

総合体育館。いや、めっちゃ暑いって言われてんだけど総合体育館。入れてくれって総合体育館。

安田委員)

空調を入れないとすごい暑いんです。そこに総体に何かして集まってくるような感じにすると。どうせ夏休みに入ってしまったって、そんなにそんなに体育もないでしょうし。

町長)

なるほどね。どうなの、1 回、1 回そういうのも確認してみればいいのでは。

教育長)

いい意見ですね。小学校ね、実は大型の冷風機ね、5 台あるけどあれでもね、気休めかもしれないけど窓開けて。でも暑くなればどうしようもないもんね、どうしてもね。

町長)

私も体育のときに観に行っただけど、あれなら動くっていうのはちょっとかわいそうだったな。

教育長)

昆布も同じなんだけどもね。

町長)

だから今、安田さん言ったように、総体がそんな空調をやってて、空調って何か涼しいのか。

教育長)

若干でしょ。

安田委員)

中学校とか、小学校の体育館よりはマシかなっていう。

町長)

何十分かの時間だからな。

生涯学習課主幹)

送風だよ。送風であれでいいですよ、体育館。だから若干っていうことだと思うんですけど。送風で風送れる。体育館、昔からありますよね、確か。ですよ、そのことですよ。

安田委員)

なんか、今年初めて送風夏に入れてくれて、あるのとないのでは全然違って。

生涯学習課主幹)

壁から出るんですよ。

安田委員)

そうです。普段暖房が出るところが、なんかただ風だけ。

町長)

いや、ちょっとやってみて、それ。

教育長)

ちょっと学校側と協議して、バスの関係だとかいろいろあるかもしれないんだけど、そういう中で使えるもの、体育館側と協議してできるもの、やってみたいというか、話してみたいと思います。

町長)

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

西澤委員)

スキーリフトの、すごいですよね。1万円って。

町長)

これ実は、特別割引みたいなのもしてもらってるの、連携結んでね。だけどこれ、今回全額補助するのか。

教育長)

それはスキー授業の話なんですよ。スキー授業、子どもたちのスキー授業は今まで半額だったんです。

町長)

そういうこと。

教育長)

それを子ども・子育て基金活用させていただいて。授業でやってるんだから、これは学校の授業だから負担を求めなくてもいいんじゃないかっていうことで、全額助成に向かいたいなっていうことで。

あの年間のシーズン券は、スポーツ課でちょっと別に今、アンヌプリだとか。

教育次長)

あれはいくらか手出しあるんです。

町長)

うん、ある。今どっちに行ってるの、アンヌプリに行ってるの授業って。

教育長)

今、モイワだったよね、モイワだね。

西澤委員)

アンヌプリが一番安いでしょ。

教育次長)

いや、モイワが一番安い。

生涯学習課主幹)

シーズン券ね。1日券はモイワも高くなった。

教育長)

いやいやアンヌプリも高くなってる。

西澤委員)

アンヌプリは7,800円。

町長)

アンヌプリは据え置きだったんだよね。

生涯学習課主幹)

モイワ13,000円じゃなかった。

教育次長)

でもシーズン券は高い。

生涯学習課主幹)

1日券か、シーズン券じゃなくて。

町長)

1 日券、それがアンヌプリが一番安かったの。

西澤委員)

冬の、スキー履いてゲレンデをこう登るのも。

教育長)

そうなんです。そう、そう、そのとおり。あれも授業なんですよ。いや、今の子どもたち上がれない子いっぱいいるって言ってましたよ、横で。

西澤委員)

滑ったらもう。転んだら起きれないから。

町長)

ちょっと、応接室にランドセルあるから、それ持ってきてくれないか。

西澤委員)

ランドセルもなんか言ってましたね、そういえば。

教育長)

現物見たことあります。すごい、いい。

西澤委員)

ランドセルじゃなくて、軽い何か。

町長)

今、だから見せます。

安田委員)

一番上の子どもが蘭越ってランドセルもらえるのって。どうしてそれをもって、びっくりしてた。

教育長)

本当は僕も欲しいと思って。本当に本当に欲しいと思うような素材で。いつでも使えそうな、ランドセルに見えないっていうか。

西澤委員)

昔の B5 から A4 になって大きくなったんだね、タブレットとか。

宮武委員)

じゃあ、6 年生まで使える。大体ランドセルってもう 3 年生ぐらいで、荷物いっぱいになっちゃて。

町長)

今やっぱりランドセルって 6 万とか 7 万とか、それくらい。

安田委員)  
しますね。

町長)  
これです。

西澤委員)  
横に使えばいいですね、横に使えるんじゃない。

安田委員)  
なんか、小さいですよ。

町長)  
いや、サイズがね、サイズはいろいろあるの。だけど小学校のその部分だったら。

安田委員)  
普通に欲しいですね。

教育長)  
欲しいでしょ。いい色だよ、それ。背負ってみて、すごいいいから。この間、背負ったんだけど、すごくいいわ。

安田委員)  
すごい軽い。しかもちゃんと書いてる。

町長)  
そうでしょ。

教育長)  
丈夫だし。

町長)  
これ一緒に開くんだよ。だからランドセルっていうふうには言ってなくて。非常にこれ、ワンバックっていうのなんだけど、事業者とちょっと協定を結んで。  
これいくらぐらいだと思います。

高橋委員)  
安いのかな。

西澤委員)  
ランドセルより安いんですか。

高橋委員)  
安いんですかね。

安田委員)  
2万ぐらい。

町長)  
それより安い。

西澤委員)  
らんこして、らんこシタウンって入ってる。

町長)  
入れたんです。1万6千円くらいだったかな。だから、ランドセルではないんだけど、ランドセルを買ってあげたかったらランドセルを買ってあげてもいいし。お母さん方にアンケートをとったら誰も反対はなかったのです。

安田委員)  
確かに。

町長)  
それを今、来年小学校上がる児童に全額プレゼントしようかなと思って。それを繋げていければ。そのうちだんだん中学生に今度。

西澤委員)  
中学生は指定靴じゃなかったですか。

安田委員)  
いや、もう自由です。変わったんですよ。

町長)  
だんだん、中学生の制服を何とかして。

安田委員)  
すごいですよね。

町長)  
だけど、子どもたちにそうやって少しはね、夢を与えたり、制服とかね、そういうのもね。子どもたちの意見を参考にしながら、自分たちが考えた、そういうね、制服の部分とか。で、今、事業者と連携すると、すごい高くないんだよね。いろんな部分をね。だから、少しそういうような部分で、子育ての支援策として、やればなって。まずはこの小学生のランドセルから。

これは子育て支援の部分だからあれなんだけど、皆さんの方からこういうことができればとか、何かあったら、またみんなで協議しながら次に進めるんじゃないかなっていうふうに思いますよね。

研修視察はどこ行くの、秋田行くの。

西澤委員)  
今、何も考えていないですよ。



安田委員)  
まったく分かりません。

学務課主幹)  
秋田が全国の中でトップクラスなんで、できたらいいかなとは思ってますけど、もうちょっと後志教育局の方と情報共有してもらいながら、行き先を決めたいなと思います。

西澤委員)  
農業委員会どこか行くよね。

安田委員)  
台湾に。

西澤委員)  
台湾行って、何しに行くの。

町長)  
いや、実は委員さんが、台湾で米を売るんですよ、行って。確かに今、国内市場とか、そういう部分あるけども、やっぱり海外に目を向けるっていうことを、これ非常に大事なことじゃないかなっていうふうに思ってるんですよ。なかなかそこに一步踏み出すっていうのはどういう手立てでやったらいいのかなと思ったときに、農業委員は自分たちで台湾に行って、特にこことか、シンガポールだなんだって、輸出してる。そういうのもあるんで、台湾の直接、高島屋のデパートの中で、らんこし米っていうか、持って行って販売したり、そこでのお客さんのいろんな反響とか、非常に日本の米っていうのはすごい高く売られてるって話なんだ。だから、これ国内だけの市場じゃなく、今後も海外とか、そういう部分の中でも独自にらんこし米の展開の部分もね、考えられるんだったら必要ですね。いいんじゃないかって、ぜひ農業委員が先陣切って。

蘭越高校生は修学旅行に台湾で、今年も行ってすごい良かったって話をしてくれたし、中国とのいろんな問題があるかもしれないけど、農業委員さんが5日からか。

西澤委員)  
全員一緒に行くのかい。

町長)  
全員。

西澤委員)  
前は2つくらいに分かれて。全員かい。

町長)  
だから、やっぱり行くっていうのはそういうきちっと、どういう目的でどう行くんだって、やっぱりそういうものがね。今回は農業委員はそういう目的でっていうことをきちんと打ち出したし、議会もだんだんそのうち海外とか、そういうことは出てくるのかなと思ったり。いつときは町民の皆さんもうちが国際交流をやっているオーストリアのザールフェルデンとか。

高橋委員)  
私も行かせていただきました。

町長)

西澤さんは。

西澤委員)

私はね、青年のときの農民の船。

町長)

竹下 登さんが総裁のときに一億創成って言って、1 億円を各町村に全部配ったんですよ。いやそのお金っていうのは蘭越もまだあるんだけど、当初は金利が高かったから、だから積んで利息で中学生をアメリカにやったりとか。

安田委員)

聞いたことがあります。

町長)

それとか、小中高を青少年広島の旅って行って、広島の実験ドームのところに行かせたりとか、いろいろそういう事業ができたんだけど、まったく金利がなくなって、今1 億まったくつかない状況で、そういう事業がなかなかできなくなったんだけど、やっぱりこれからそういう部分っていうのは少しね、必要な部分っていうのもあるのかなっていうのは非常に感じて、高校生をまず、高校生の蘭越高校の存続という部分も含めながら、台湾の方についてやったらすごい喜んでくれていたりとか、だから中学生だなんだって、そのうちやっぱり私達も行きたいって、だんだんそういうふうになるかなと思ったり。やっぱりいろんなところに出て、観てくるっていうのは非常にいいことかもしれない。

教育長)

それはその通りだと思います。

町長)

そういう意味で、来年度外っていうので優良な所を皆さんでよく検討しながら、参考となる所に行っていただければいいんじゃないかなって思います。

いかがですか、何か。全体通してでも構いませんので、何かご意見等ございましたら。

宮武委員)

最後の7 番目の社会教育事業と子どもたちとのつながりについて、子どもたち学校単位でいろいろな発表の場とか、作品の展示の場とかはあると思うんですけど、個人で何か活動してるのととか、何かそういうのもちょっと気楽な発表の場みたいなのがちょっとあったらいいかなっていうので。例えば、なんだか講座ってやってるじゃないですか。創作とか、そういうのを例えば高校生とかに講師的なものをお願いして、自分の得意なこととか、今やってることを地域の皆さんと交流するみたいな、そういう場とか。例えば、蘭越の企業の皆さんに協力してもらって、何かその企業のポスターとか、その会社の紹介の冊子とか、そういうのを子どもたちの力をもらって、期間限定でもいいから、そのデザインを1 年間使用しますみたいな感じで募集したりとか、子どもたちが自分で何かやってみたいなっていうことを受け入れますよっていうか、聞く機会がありますっていうのを発信する部分も大事なかなと思います。

町長)

この間、高校生模擬議会やったんですよ。その中で、蘭越高校生が、らぶちゃんホールもも

っと自分たちのいろんなやりたいとか、そういうような部分の中で活動できないか。それが高校生が主体的にやることによって、いろんな方々との交流ができたとか、もう一つ、子どもから大人まで一緒になってみんなで。だから高校生のその発想のもとに、こういう、らぶちゃんホールはコワーキングスペースっていうものを造って、その中で高校生が考える部分の活動とか、そういうものができるか、これ非常にいいことだなんていうふうに思ってるわけです。

ただ、今のらぶちゃんホールっていう部分の中で、高校生だけ特化した部分で、そのスペースだけ、それが取れるかっていう部分があるから、そこまでガチとしたコワーキングスペースじゃなくても、高校生がやりたいとか、そういうものをみんなで共有しながらできるとか、そういうのは非常にぜひやって欲しいなっていう、ちょっと答弁をしたんだよね。だから、うまく蘭越高校生が、せっかくだから、らぶちゃんホールに寄ったりとか、そういう町の施設を活用して、自分たちがみんな地域の人も協力しながら交わるような、そんなような形を高校生が望んでいるのかなっていうふうに思ったし、そういう仕掛けも、今言ったような仕掛けもやっぱり大切なのかなと感じました。

宮武委員)

こっちから発信してどんどん言ってきてくださいみたいなことをこっちから発信していくっていうのも大事ですよ。

町長)

非常にこの間、模擬議会はすごいいいことをいっぱい言ってくれて。

館長、きちっと蘭越高校生に言って、一歩前進しなきゃダメだよ。

生涯学習課主幹)

今、宮武さんが仰ってる高校生がね、主体となっているいろんなやってくっていうのはすごくいいことだと思ってますし、花一会のブキニストの中で、先生着いて行くんですけど、科学の広場みたいなので、生徒が来館者にこう教えたりっていう部分もやったりしていますし、今やってるんですけど、それなんか結構人気で、子どもから大人まで人気だったり、まずあるんですよ。

そしてあと今、社会教育で中高生ボランティアって募ってやっていて、今年はちょっと期間をいつも6月から11月ぐらいまでの行事に参加してくれてなんだけど、来年ちょっとこれ実は拡大したいなと思って、その中で中高生ボランティアに入会してもらって、そういう講習会みたいなのをやって、そのボランティアが自分たちで何かこうやっていけるようなことを作っていったって、さっき言った講座でも何でも、何でもいいと思うんですよ。町民を巻き込めるような何か体制をできるきっかけをちょっと作りたいなと思って、来年はちょっと拡大してやりたいなっていう、それもあります。当然、中学校、高校の先生方にも、出だしはちょっと協力いただかなきゃならない部分もあるかもしれませんが、さっきのコワーキングスペースの話ですけど、町民センターは空いてる場所があるんで、相談があればもういつでも使ってくださいねっていうことは、私も言いましたし、その中で何か生まれてくるものがあれば、それはそれでまたさっきの高齢者の話でもないですけど、今、高齢者事業っていうのも少なくなってるんで、何かこう、寄せ集めて、レクひとつでもいいし、何でも高校生、中学生が主体となって事業を展開していく。そしてまた発表していくと。今回は来週の土曜日ですね、青少年健全育成では、今回、大阪万博に行った発表っていうのを子どもたちにしてもらいますけど、そういういろんなことを体験してるのも何かのところで発表できるようにしていける機会をちょっと考えたいなとは思ってますんで、また何かあったら、ちょっと側面からご意見いただければと思います。

まずちょっと、来年はやってみたいなのということちょっとあるんで、5月ぐらいからちょっとやってみようかなとそんなことで考えてます。

安田委員)  
楽しそうです。

町長)  
万博とか行って良かったって言ってた。

安田委員)  
はい、すごい楽しかったって言うんですよ。

教育長)  
で、泊まることも御飯もね、たらふく食べた、食べたしね。そういうのを見るのも見れたし。

西澤委員)  
教育長も行ってたの。

教育長)  
行きました、一緒に。町長も行ってますけども。

町長)  
最後に。だけどやっぱりあの万博っていうのも、うちの観光大使になっている大阪観光局の溝畑さんっていう理事長なんだけど、子どもたちに夢を与えるものだってすごい言って、夢を与えるものを絶対観せる必要はあるよっていうふうにすごい強く言ったんだよね。議員はその前に行ってるわけ。もうやっぱり議員はそうだなって。この後、次は横浜だったか、日本でやる部分の中では。だけど見に行くことってすごい大切なんだなというふうに、行ってみないとすごさとか体験できないんだろうなって、それで急遽。本当はもっとね、いっぱい行かしてやれば良かったなと思ったけども、それぞれ選んで行ってもらって、そういう良かったっていうふうに言ってくれて、本当に行かせて良かったかな。そういう夢を与えるなんて、観ないと分からないものってすごいあるから、今の子どもたちのやっぱり感性ってすごいなと思うんだ。そういうのを教育の場面とか、そういうような部分で何か生かしていければ、一番いい部分もあるかなって非常に。この間の模擬議会も含めながら、ああいうしっかりしてるよなっていうのは。どうですか。いかがですか。もうだいぶ時間も迫ってきてるんで。

西澤委員)  
今、蘭越町の関係で、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に生活してる2家族3家族っていうか、3世代っていうか、そういう家族って何件ぐらいあるんでしょうね。

安田委員)  
大分減ってると思います。

町長)  
少ないわ。

西澤委員)  
でもやっぱりその高齢者と交流したりとかっていうね、そういうのもあると思うんだよね。

町長)

確かに年々増えていってるのは独居とか、そういうのが増えていってるんで、なかなかないんじゃない。大変だと思う。その中でやってるんだから。

西澤委員)

当たり前だと思ったから、別にそれは何とも思っていないんだけど。本当にそういう家族、本当のような気すると思うんだけどね。

町長)

そういう中でいろいろ教えたりとかね、そういう部分っていうのもあって。

西澤さん言うように、そういう中で生活しながら、やっぱり教えてもらって。子どもを育てるっていうのも、親の助け借りながら、やっぱり育てていってるっていうそういうんだってあると思うんだけどね。

西澤委員)

思うんですよね。子どもは昔も今も変わらないと思うんだよね。ただね、いろんなもの発達してるから、今の子どもたちは ICT、IT をやるけど、子どもの本質なんてそんなに変わってないと思うんだよね。それを今の時代はそんなもんじゃないなんて言ってね、みんな避けてる気がするんだよね。だからもうますます何か変な方向に向かってくような気がするんだよね。いつの間にこんなふうになったのか。

町長)

やっぱりそういう部分で、教育行政とか学校の先生方も大変だろうし、本当に皆さん方もうてるのも、いろんな部分の中で、これからますます複雑、多岐にわたるから、重要性がますます増えてくると思いますけどね。そういう意味でもいろいろ情報交換をしながら、今日の教育会議っていうのはこういうやり方でいいのかなって、何かもうちょっとこういうふうなやり方はどうですか。そういうのを委員さん方でも話し合ってもらって。

これ町長が招集することになっている会議だということだから、私が招集した中で、もう少しこういうような懇談とか、そういうのをしたりとか、何かあったら、教育長の方にもお話をしていきながら、限られた時間だからぜひ有意義なものにしていきたいなというのは思ってます。

例年、今の課題と来年度の予算ですね、来年度の予算っていう部分は既に皆さんを聞いてるわけだから、その中で、町側と今、これから査定とか入るから、そういうよりは、もしかしたらもっと皆さん違う部分で懇談、今のいろんな社会情勢とか、いろんなそういう中で教育とか生涯学習とか、そういう中で蘭越にとって、もう少しこういうことができないとか、そんなようなことも含めて、協議できたらありがたいなというふうに思ってます。

そういう中で是非いろいろ話をして、これはずっと繋がっていくわけですから、有意義な討論になっていけばいいなというふうに思ってますんで。

高橋委員さん、いかがですか。

高橋委員)

いずれにしても何をするにしても要望等もありますけども、予算が伴うことなので、そこら辺は町長によりしく願います。

教育長)

そうですね。そういう会議ですね。

町長)

そうしたら今日この会議はもう閉めていいんですか。何か最後に皆さん言い忘れとかないですか。

そうしましたら、今日、以上でこの会議を閉じたいなというふうに思ってますが、非常に高橋委員から言われた予算絡むって本当にそうなんですね。財源を見つけなきゃなんないけど、だけど、子どもたちのためとか、生涯学習のために、やっぱこういうことは是非やっていきましょうとか、それってすごい大切な部分があるから、直ぐできないとしても、いろんな段階を踏んで、是非こういうような子どもたちの、やっぱり未来を託す子どもたち、蘭越らしいいろんな育て方とか、いろんなそういうこともあると思うから、そんな話が何かできればありがたいなというふうに思ってますんで、今後ともですね、いろんな部分で、教育委員さんの立場っていうのは本当に重要になってくると思いますんで、いろいろな部分でご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。今日の会議をこれで閉じたいなというふうに思います。

## 5 閉会